

参考資料

庁舎の複合化事例

事例集

もくじ

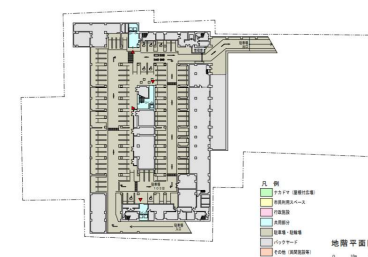
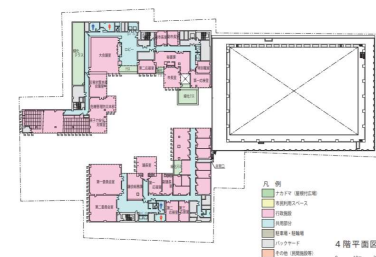
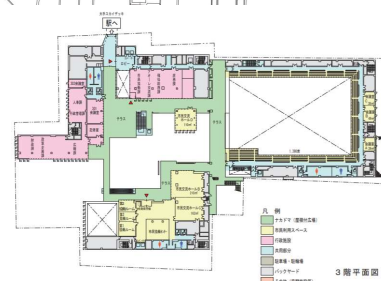
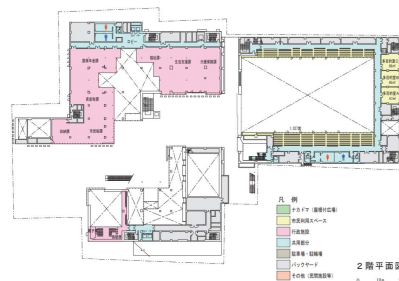
	機能	効果
1. 長岡市シティホールプラザアオーレ長岡 (新潟県長岡市)	- 庁舎 - アリーナ - 市民交流ホール等	- 機能性向上 - 拠点・にぎわいづくり - 住民意見反映
2. 呉市役所新庁舎 (広島県呉市)	- 庁舎 - 協働センター - 多機能ホール等	- 機能性向上 - 拠点・にぎわいづくり - 防災拠点
3. 宮古市新庁舎イーストピアみやこ (岩手県宮古市)	- 庁舎 - 市民交流センター - 保健センター等	- 機能性向上 - 拠点・にぎわいづくり - 防災拠点
4. 沼田市新庁舎テラス沼田 (群馬県沼田市)	- 庁舎 - 図書館 - 歴史資料館等	- 機能性向上 - 拠点・にぎわいづくり - 防災拠点
5. いの町役場本庁舎 (高知県いの町)	- 庁舎 - 多目的ホール - プラザ等	- 機能性向上 - 拠点・にぎわいづくり - 防災拠点
6. 新庁舎・市民交流施設 Orinas (オリナス) (兵庫県西脇市)	- 庁舎 - 多目的ホール - カフェ・ショップ等	- 機能性向上 - 拠点・にぎわいづくり - 住民意見反映

- 機能性向上
- 拠点づくり・にぎわいづくり
- 住民意見反映

市民との協働により、庁舎、アリーナ、ホール等を複合化し、市民中心の活動の場を創出

機能

庁舎、アリーナ、市民交流ホール、屋根付広場（ナカドマ）、シアター、カフェ、災害対策本部室、駐車場



- 市役所本庁機能を中心市街地活性化のために集約、計画・資金調達・運営段階において市民と協働し、市が整備した。
- 近接する建物を利用して「大手通庁舎」と「ながおか市民センター」とし、3つの建物に本庁機能を分散配置。



- コンパクトシティの実現に向け、中心市街地活性化を図るための公共施設（市庁舎）の役割を意識し、もともと中心市街地以外に立地していた市庁舎の中心市街地への移転を選択。

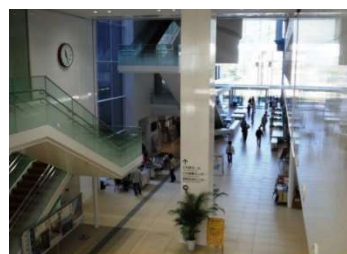
【出典】 長岡市HP <https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate05/ao-re/about.html>

- 機能性向上
- 拠点づくり・にぎわいづくり
- 防災拠点

庁舎と市民利用スペースを複合化し、街づくりの拠点、災害時には防災拠点として利用

機能

庁舎、くれ協働センター、くれ絆ホール（多機能ホール）、国際交流センター、防災会議室、カフェなど



- 耐震強度面の不安から、隣接した市民会館・公民館と併せて解体、庁舎棟・議会棟・市民ホール棟・駐車場の4棟から構成された新庁舎に複合化された。

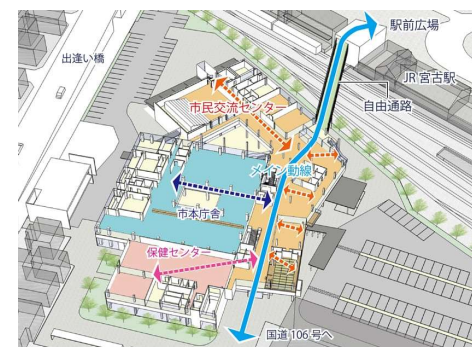
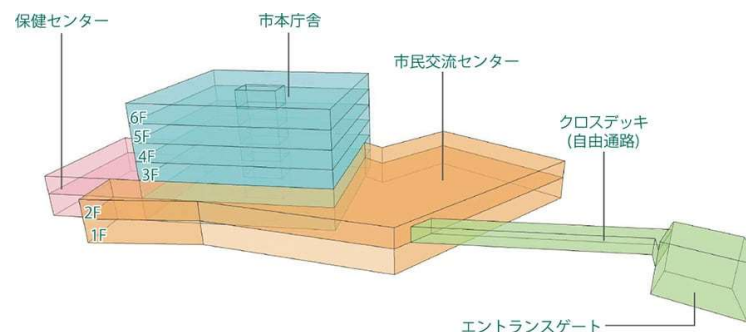
- 災害発生時に「くれ絆ホール」を災害対策支援本部スペース、くれ協働センターを災害ボランティアセンターとして利用する仕組み。

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 防災拠点

市民の安全・安心な暮らし、健康づくり、交流の拠点として様々な活動で利用

機能

庁舎、市民交流センター、保健センター、駐車場



- 非常用自家発電設備、防災資機材倉庫や備蓄倉庫を備え、有事の際には災害対応の拠点及び一時避難場所となる。
- 自然採光や自然換気等、省エネルギー設備を導入し、環境にも配慮。



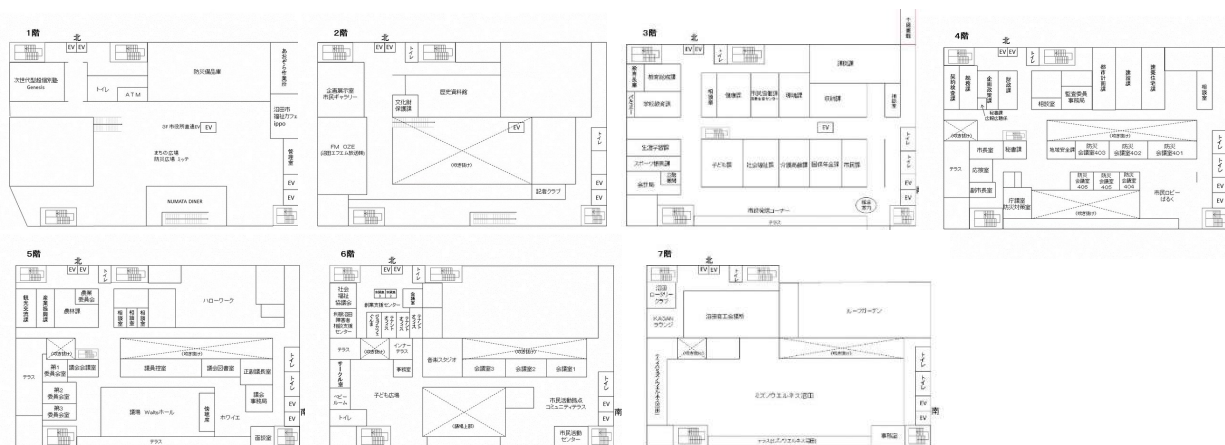
- 東日本大震災時に保健センターは全壊。震災を教訓に、市の将来を見据えた地域防災拠点のあり方と中心市街地の賑わい創出について検討を重ね、「中心市街地拠点施設整備事業」により整備。

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 防災拠点

行政機能の集約、市民活動スペース、民間施設の複合化により市民の利便性を向上

機能

庁舎、図書館、歴史資料館、まちの広場（防災広場、福祉カフェ）、市民活動センター、コモンテラス、トレーニングプラザ、駐車場



- 町の中心にあった休業している大型商業施設を改修して庁舎を移転。
- 1階は2階の床を取り払い吹き抜け状にした被災時対応の市民広場を設置。備蓄倉庫を備え、被災時の一時避難用スペースになる。



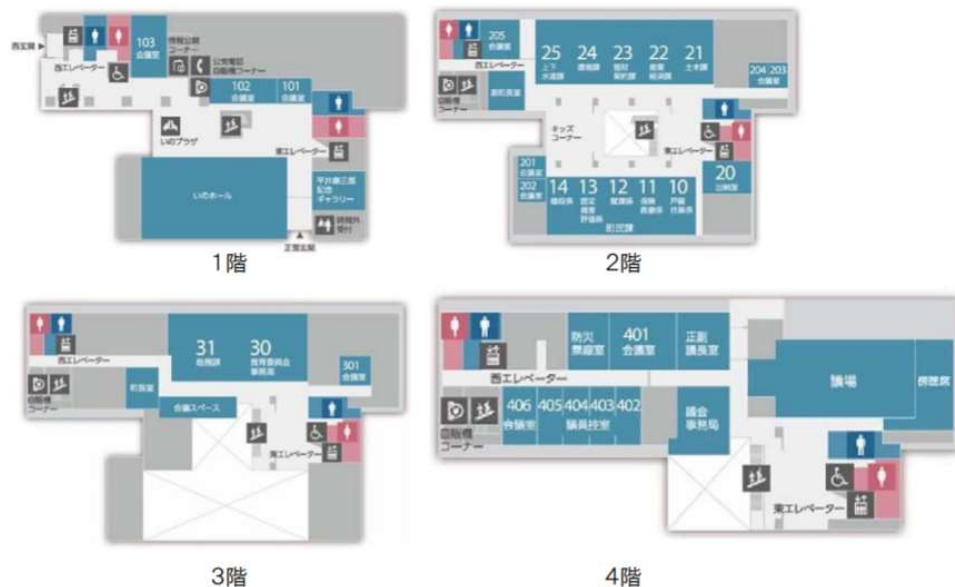
- 「にぎわいの拠点」「市民活動の拠点」「安心・安全の拠点」の3つをテーマに、「明日の沼田をつくる元気づくりの拠点」を目指す。

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 防災拠点

防災拠点の機能の他、町民の活動スペースやギャラリーを併設し、安心安全の確保と文化継承を図る

機能

庁舎、いのホール（多目的ホール）、いのプラザ、平井康三郎記念ギャラリー、会議室



- 1階柱頭レベルでの中間免震とし、浸水と南海トラフ大地震の両方に耐える災害対策拠点となる防災庁舎。
- 1階には音楽会や広場との一体利用など多目的に使える「いのホール」を設置。



4階

- 「いの町の伝統と文化を継承し、これから百年以上にわたり、災害に強くそして長く愛され、活きていく百年庁舎」とのコンセプトにより整備。

【出典】 いの町HP <http://www.town.ino.kochi.jp/kurashi/1781/>

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 住民意見反映

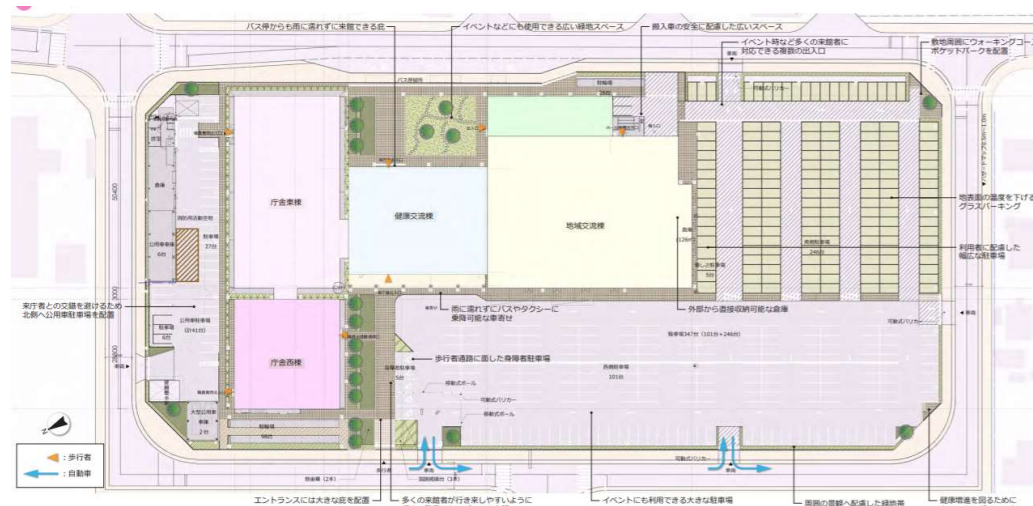
行政機能に加え、健康、交流、観光機能を備え利便性の向上と各事業の連携を図る

機能

庁舎、多目的ホール、カフェ、地場産品販売ショップ、軽運動室、ルーフガーデン、地域包括支援センター、在宅医療介護連携支援センター、基幹型相談支援センター



- 中心市街地の大型商業施設が撤退。著しくにぎわいが失われたため、市民会館と庁舎の建替えによって耐震性能の確保等を図るとともに、中心市街地でのまちづくりを推進するため整備。令和3年3月施設完成予定。



- 新庁舎等は行政機能だけでなく、市民交流施設として、健康交流機能・地域交流機能・観光交流機能の3つの機能を備える。

公共施設の複合化事例

もくじ

	機能	効果
1. 塩尻市市民交流センター えんぱーく (長野県塩尻市)	■ 図書館 ■ 子育て支援 ■ 貸館 ■ ハローワーク ■ 商工会議所	■ 機能向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 住民意見反映
2. 会津若松市生涯学習総合センター (會津稽古堂) (福島県会津若松市)	■ 公民館 ■ 図書館 ■ ホール ■ ギャラリー	■ 機能向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 住民意見反映 ■ 民間活用
3. 苫前町公民館 (北海道苫前郡苫前町)	■ 公民館 ■ 農村環境改善センター	■ 機能向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり
4. 飛島村すこやかセンター (愛知県海部郡飛島村)	■ 図書館 ■ プール・トレーニングルーム ■ 児童館 ■ 保健センター	■ 機能向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり

1

長野県塩尻市 塩尻市市民交流センター えんぱーく

規模：6.72万人（人口） 290km²（面積）

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり ■ 住民意見反映

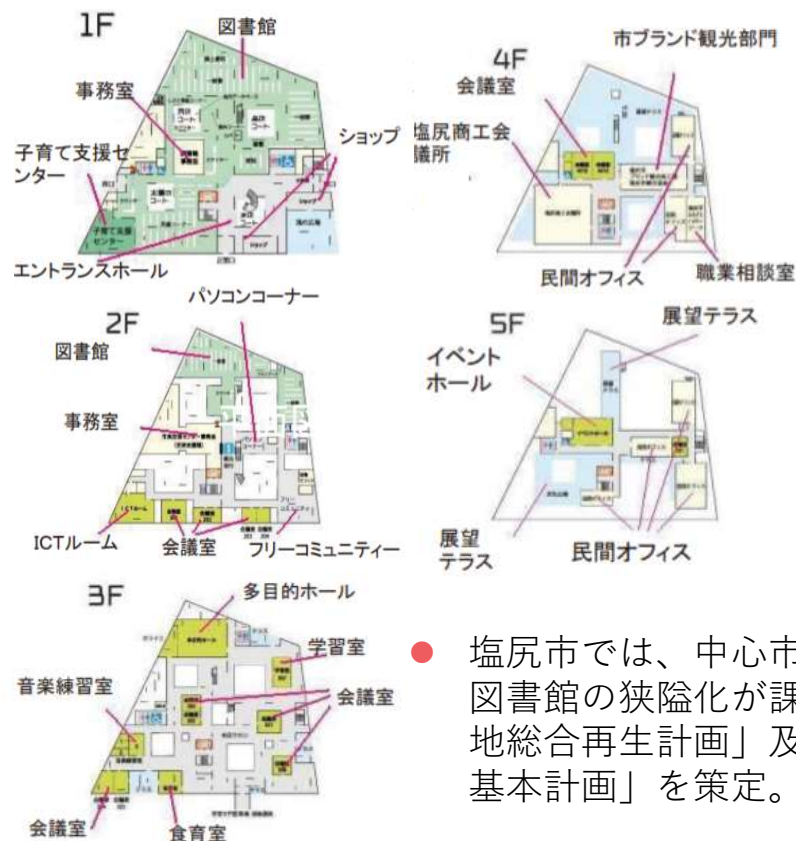
図書館、子育て支援、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援の各機能を複合化し、融合事業を展開

機能

図書館、子育て支援センター、貸館スペース、ふるさとハローワーク、商工会議所 など



- 中心市街地の立地を活かし、周辺の商店街と連携事業を行うなどにぎわいを創出している。
- 受付を共用とするなどで部署間の壁をなくし、機能を融合することにより利用者の利便性を高めている。



- 塩尻市では、中心市街地の活性化及び市立図書館の狭隘化が課題となる中で、「市街地総合再生計画」及び「市街地再開発事業基本計画」を策定。

【出典】 文部科学省生涯学習政策局社会教育課 社会教育施設の複合化・集約化
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/1387273.htm

- 機能性向上
- 拠点づくり・にぎわいづくり
- 住民意見反映
- 民間活用

生涯学習のための複合化により、情報収集から創作・発表等の活動まで生涯学習全体の流れを支援

機能

中央公民館、図書館、多目的ホール・市民ギャラリー、地下駐車場など



- 中央公民館・図書館の施設の老朽、狭隘化のため、市政方針で公民館・図書館機能を中心とした生涯学習拠点施設の整備を提案。市民からの請願・陳情等により、基本構想の公表に至る。

- 図書館を中心に配置し、各施設から容易にアクセスできるよう工夫を行い、これまで利用が少なかった層の利用向上につながった。
- 公民館では乳幼児から中高生までの若者の利用者が増加、図書館では高齢者の利用者の増加がみられ、互いに相乗効果が図られている。

<立面図>



- 公民館
- 図書館
- ホール

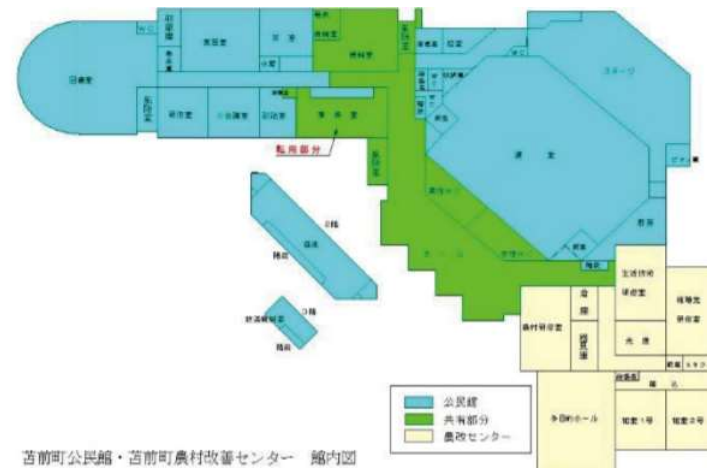
【出典】 文部科学省生涯学習政策局社会教育課 社会教育施設の複合化・集約化
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/1387273.htm

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり

公民館分館の集約や支所機能の複合化により、設備機能の向上、利便性の向上を図る

機能

公民館、農村環境改善センター、共有部分 など



- 町内の公民館分館を集約するとともに、支所機能を移転させ一元化。
- 公民館活動の充実や住民サービスの向上など行政機能全般が向上。



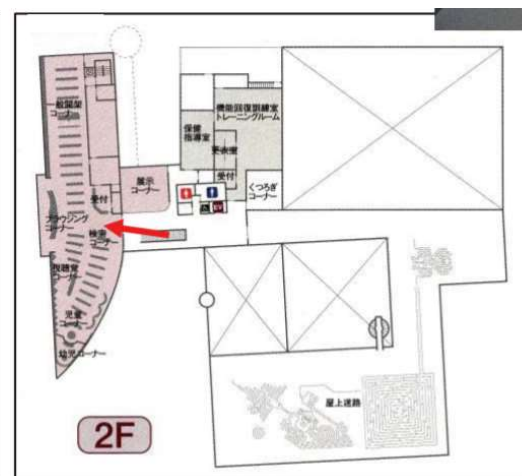
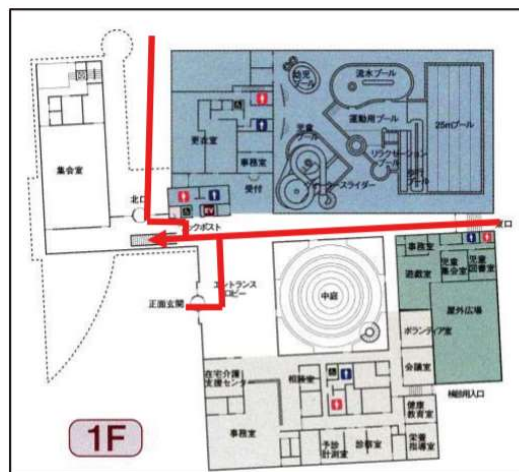
- 本町は小集落が分散しており、公民館事業は分館で対応していたが、施設規模等において思うような活動ができないことから活動の場を新公民館に集約。各地区の住民が集うコミュニティの拠点となる。

■ 機能性向上 ■ 拠点づくり・にぎわいづくり

体力増進機能、高齢者支援機能、子育て支援機能を複合化し、多世代の交流の場を創出

機能

図書館、温水プール・トレーニングルーム、児童館、保健福祉課（保健センター）、屋上迷路 など



- プールや児童館等の利用者が図書館も利用できるなど、子供からお年寄りまですべての人々がここに立ち寄り、憩い、談笑し、交流する場となっている。
- 住民調査の意見に応じて、「日本一の健康長寿の村づくり」の中核的拠点として建設。



- 家庭教育力の向上・子育て世代へのサポートなどにも取り組み、多世代間交流が盛んになった。
- 飛島村では、急速に進行している少子高齢化社会に対する福祉、子育て、教育支援の充実をめざした行政運営を心がけ、先進的な諸施策を行っている。

【出典】 文部科学省生涯学習政策局社会教育課 社会教育施設の複合化・集約化
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/1387273.htm